

第693回

日本小児科学会東京都地方会講話会 プログラム

※講話会プログラムの郵送はいたしませんので、各自ダウンロードいただきますようお願いいたします。

日 時: 2023年10月14日(土)午後2時00分

来場開催会場: アットビジネスセンター八重洲 501 号室

ライブ配信 URL:

https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/86907682301?pwd= YVFlZ2R3TCtreVd6UGJKMFkyNWFVZz09

ミーティング ID: 869 0768 2301 パスコード: 263497

参加方法	参加費	教育講演受講単位及び 学術集会参加単位について	備考
来場参加	1,000円	専門医共通講習1単位(ii 貼付用) 学術集会参加単位(iv-B 貼付用)	*単位を取得するためには教育講演全て の聴講が必要(60分)
WEB参加	無料	単位配布のご用意はございません。	* WEB にてご視聴いただく場合、聴講後に視聴者ログ、視聴時間などの情報 共有をいただきますことをご了解お願いいたします。



【会場アクセス】

- IR 東京駅(八重洲口)より徒歩約10分
- ■日比谷線 八丁堀駅より徒歩 2 分 ※日比谷線八丁堀駅(A5 出口)

アットビジネスセンター八重洲 501 号室

東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル 5・6 階

※建物の外観:ガラスカーテンウォール

※看板表記: ABC conference room

【東京都地方会】

会 長:森岡一朗(日本大学医学部小児科主任教授)

主幹校:日本大学医学部小児科 担当:岡橋 彩

連絡先: jpstokyo-office@umin.ac.jp

※講話会中の緊急のご連絡は会場 03-6627-2151 まで

東京都地方会 HP: https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/



第693回日本小児科学会東京都地方会講話会プログラム

(1題6分、指定発言5分、追加討論3分以内厳守のこと) 《プログラム係 東京慈恵会医科大学 伊藤 怜司》

一般演題 (1) 14:00 - 14:20 座長 木村 妙 (東京慈恵会医科大学附属病院小児科)

1) 横紋筋融解症と肺塞栓症をきたした ROHHAD 症候群の 1 例

○山田 大薫¹⁾、青木 政子²⁾、松田 健剛²⁾、川口 忠恭²⁾、桃木 恵美子²⁾、石井 和嘉子²⁾、 森岡 一朗²⁾

(1) 日本大学医学部、2) 日本大学小児科)

14歳男子。2歳頃から高度肥満、肝機能障害および2型糖尿病を認め前医で診療されていたが1年前から通院を自己中断していた。体動困難となり当院へ救急搬送され、横紋筋融解症と肺塞栓症を認め加療した。精査で本態性高ナトリウム血症、成長ホルモン分泌不全および中枢性無呼吸を認め、血液検査よりSFO (Subfornical Organ) 抗体陽性、臨床症状から ROHHAD 症候群と診断した。本症候群に横紋筋融解症と肺塞栓症をきたした病態について考察する。

2) プロプラノロール治療における持続的心電図モニタリング

〇牧 庸彦 $^{1)}$, 飯島 弘之 $^{1)}$ 、永井 章 $^{1)}$ 、前川 貴伸 $^{1)}$ 、島袋 林秀 $^{1)}$ 、吉田 和恵 $^{2)}$ 、窪田 満 $^{1)}$ 、 石黒 精 $^{3)}$

 $(^{1)}$ 国立成育医療研究センター総合診療部、 $^{2)}$ 同 皮膚科、 $^{3)}$ 同 教育研修センター)プロプラノロール塩酸塩シロップは乳児血管腫の第一選択薬に位置付けられており、当院ではプロプラノロールの導入を、持続心電図モニタリングを含む入院パスを用いて行っている。副作用の一つである徐脈の頻度は、既報告で 1.0% 程度とされているが、当院では患者の 20-30% で徐脈が出現し、それぞれ個別の医学的対応を要している。プロプラノロール導入時に持続心電図モニタリングを行う意義について、文献的検討を加えて報告する。

一般演題(2) 14:20 - 14:55 座長 松岡 諒(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科)

3)診断に時間を要した先天性総胆管拡張症の1例

○松井 貴裕¹⁾、薮内 彩乃¹⁾、津浦 海里¹⁾、窪田 義己¹⁾、岸田 さなえ¹⁾、前田 直則¹⁾、 土岐 真智子¹⁾、鈴木 絵理¹⁾、藤田 尚代¹⁾、山澤 一樹¹⁾、山本 裕輝²⁾、三春 晶嗣¹⁾

 $(^1)$ 独立行政法人国立病院機構東京医療センター、 $^2)$ 国立成育医療研究センター小児外科)

11歳女児。2か月前から腰痛と軽度の食欲低下、2週前から掻痒感、1週前から嘔吐が出現した。同時期に母親が眼球結膜黄染に気づき当科に紹介された。右季肋下約15cmの肝腫大、肝胆道系酵素と膵酵素の上昇、造影CT検査で肝内肝外胆管の著明な拡張を認め先天性胆道拡張症が疑われた。高次医療機関へ転院し戸谷IV-A型と診断され肝外胆管切除術、肝管空腸吻合術が行われた。診断に時間を要した症例のため報告する。〇指定発言 藤野 明浩(慶應義塾大学医学部小児外科)

4) 食道アカラシアに対し経口内視鏡的筋層的切開術(POEM)による治療が有用であった1例

○平岡 由衣 ¹⁾、神保 圭佑 ¹⁾、新井 喜康 ¹⁾、福嶋 健志 ¹⁾、安部 信平 ¹⁾、鈴木 光幸 ¹⁾、工藤 孝広 ¹⁾、 島村 勇人 ²⁾、井上 晴洋 ²⁾、清水 俊明 ¹⁾

(1) 順天堂大学小児科、2) 昭和大学江東豊洲病院消化器センター)

11歳の女児。嚥下時違和感、嘔吐、体重減少を主訴に当科に紹介された。上部消化管内視鏡像と食道造影所見から食道アカラシアと診断した。各種対症療法は奏功せず、消化器内科で経口内視鏡的筋層切開術 (POEM) を施行したところ症状の消失がみられた。成人領域ではアカラシアに対する POEM の有効性が知られている。小児においても根治が得られる可能性が高く、今後第1選択となり得る手技と考えられた。

5) 哺乳不良の精査で診断した14トリソミー・モザイクの1例

○川崎 健太、奈良 昇乃助、森 健太郎、大岩 純平、中山 俊宏、西袋 麻里亜、西端 みどり、 奥野 博庸、山中 岳

(東京医科大学病院 小児科·思春期科)

日齢0の新生児。在胎37週6日、2526gで出生し、哺乳不良を認めたため入院した。形態異常はなく、甲状腺・代謝検査や頭蓋内の精査も異常はなかったが、G-band 検査にて14トリソミー・モザイク(2/30細胞)と診断した。同疾患は哺乳不良、成長障害や特異的顔貌等を有するが、モザイク率により症状、予後は異なる。哺乳不良の中にも染色体異常が潜在することもあり、原因不明の場合には染色体検査も検討に値する。

一般演題 (3) 14:55 - 15:25 座長 飯島 正紀 (東京慈恵会医科大学附属病院小児科)

6) 電動自転車乗車中に受傷した大腿骨骨折の1例

○清水 俊介、大西 志麻、天笠 俊介、植松 悟子

(国立成育医療研究センター 救急診療部)

6歳男児。母の運転する電動自転車の後部座席に、チャイルドシートにベルトを締めて乗車していた。母が左にハンドルを切ったところ、本人がコンクリートの電柱に左下肢をぶつけて受傷した。歩行困難であったため救急搬送され、大腿骨骨折と診断された。規定の乗車方法を遵守しても起こった外傷であり、通常よりも大きな外力が加わり大腿骨骨折をきたした。重要な受傷機転と考えられ電動自転車の普及に対する警鐘と考え報告する。

7) 意識障害を呈した大麻中毒の 15歳の1例

○武田 りほ¹¹、宮野 洋希²¹、坪谷 ひなの²¹、相原 久人²¹、福田 茂孝²¹、日比生 武蔵²¹、飯坂 建太²¹、矢賀部 彩音²¹、佐藤 望²¹、服部 万里子²¹、吉田 登²¹、宮田 恵理²¹、鈴木 恭子²²、寒竹 正人²¹、大友 義之²¹、清水 俊明³¹

(1) 順天堂大学医学部附属練馬病院臨床研修センター、2) 同 小児科、3) 順天堂大学医学部小児科学講座) 15 歳男子。起床時からの嘔吐、意識障害のため当院に搬送された。到着時は意思疎通が困難で不穏状態と判断した。血液・画像検査の異常所見はなかった。保護者の情報から薬物中毒が考えられ、尿を用いた薬物中毒検出用キット検査を施行したところ、テトラヒドロカンナビノールが陽性であった。経時的に意識状態の回復がみられたことから薬物中毒による意識障害と診断した。思春期の意識障害は薬物中毒も考慮する必要がある。

8) 当院に救急搬送された"トー横キッズ"7症例の検証

○藤井 雅行、馬場 徹人、中村 俊一郎、香取 奈穂、鴇田 夏子、鳴海 覚志

(慶應義塾大学小児科)

家出した子どもが新宿区歌舞伎町に集まり、"トー横キッズ"とよばれ社会問題となっている。当院にも2022年4月から1年で飲酒・抗精神病薬の乱用による意識障害などで7例が搬送された。共通して、虐待・ネグレクトを含む複雑で慢性化した家庭背景を抱えるが、自宅が遠方、本人の希望がない等、継続的な医療の提供は困難だった。子どもの孤立、心理社会的な問題の解決には、小児科・行政による予防的な家族支援が重要である。

* * 休 憩 15:25-15:35 * *

感染症だより15:35 - 15:55(講演:15分+質疑応答:5分)講師砂川富正 (国立感染症研究所実地疫学研究センター)

共催セミナー 15:55-16:35 (講演:40分)

「脊髄性筋萎縮症の早期診断・治療の重要性ー拡大新生児マススクリーニングの普及」

座長 森岡 一朗(日本大学医学部小児科学系小児科学分野) **講師 齋藤 加代子**(東京女子医科大学 ゲノム診療科)

脊髄性筋萎縮症(SMA)は運動神経細胞の変性による筋萎縮と筋力低下を示す難病であり、I型の多くは生涯人工呼吸管理を要する。国際共同治験にて3種の薬が保険収載され、早期治療の有効性、発症前投与による発症抑制が示された。新生児スクリーニング(NBS)検査による早期発見・治療が重要であり、多くの自治体が SMA の NBS を開始した。小児科医は SMA の医療情報と NBS 陽性者への迅速な対応が求められる。

共催:バイオジェン・ジャパン株式会社

* * 休 憩 16:35-16:45 * *

教育講演 16:45 - 17:50 (講演:60分+質疑応答:5分) 専門医共通講習1単位

「遺伝と医療倫理について」

座長 東海林 宏道 (順天堂大学小児科)

講師 山本 **俊至** (東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系遺伝子医学分野 (ゲノム診療))

遺伝医療においては、究極の個人情報であるゲノム情報を適切に扱うべく、ガイドラインが定められている。 また本年6月には「良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合 的かつ計画的な推進に関する法律」が成立し、より適正なゲノム情報の取扱いが求められるようになった。 これら医師として知っておくべきだが難解な内容について、わかりやすく解説する。

◆ 会員の皆様へ事務局より重要なお知らせ ◆

【日本小児科学会東京都地方会幹事選挙告示について】

次期幹事選挙について、2023年11月頃、会員各位に選挙告示をいたします。よろしくお願いいたします。

【年会費オンライン決済システム拡充に関して】

2023年10月2日(月)より現在のクレジットカード決済以外に新たに下記オンライン決済が可能となります。

- コンビニ決済(可能なコンビニ:ファミリーマート/ローソン/ミニストップ/ セイコーマート/デイリーヤマザキ)
- 銀行振込

2023年度年会費未納の方は2024年3月末日までに【会員マイページ】より納入手続きいただきますようお願いいたします。

- 3年間未納の場合、自動退会となりますのでご注意ください。
- *会員登録事項変更等についてもマイページより各自お手続きお願いいたします。

【年会費免除申請について】

学部学生(大学院生は除く)および、初期臨床研修医は年会費および講話会会場費は免除とします。 学部学生は学生証、初期臨床研修医は職員証(写)と<u>年会費免除申請書</u>(東京都地方会ホームページよりダウンロード可)を事務局に申請してください。

【東京都地方会名誉会員のご推薦について】

東京都地方会では名誉会員の推薦を随時募集しています。詳しくは東京都地方会ホームページにてご確認お願いいたします。

ご不明な点がございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

【次回以降開催予定】 2023年12月9日(土) 来場(アットビジネスセンター八重洲)+ライブ配信

2024年1月13日(土) 来場(アットビジネスセンター八重洲)+ライブ配信

2024年2月10日(土) 来場(アットビジネスセンター八重洲)+ライブ配信

【担当医局】日本大学医学部小児科

【東京都地方会 HP】

https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/

※講話会中は会場 03-6627-2151 へご連絡ください。

連絡 🖂: jpstokyo-office@umin.ac.jp

演題募集中!

登録方法などは詳しくは東京都地方会ホームページをご確認ください。

◆ 年間行事情報 ◆

第48回東日本小児科学会のご案内

開催方法:現地+オンデマンド

取得単位: ii 専門医共通講習(地域医療), iii 小児科領域講習

日 時: 令和5年11月23日(木・祝)

会 場:文京学院大学本郷キャンパス 仁愛ホール

会 長:日本医科大学付属病院 小児科 大学院教授 伊藤保彦先生

テーマ:小児科はこれからが面白い

参加申し込み期間:令和5年9月27日(水)~11月9日(木)

(オンデマンド配信は12月27日(水)まで)

オンデマンド配信期間:令和5年11月30日(木)~12月28日(木)

開催に関する問い合わせ先:第48回東日本小児科学会事務局 日本医科大学附属病院 小児科

E-mail eastjapan48@gmail.com

プログラム詳細:ホームページ https://48east-ips.ip/ をご参照ください。

小児診療初期対応(JPLS)のご案内

日本小児科学会と東京都地方会の共催で小児診療初期対応(Japan Pediatric Life Support: JPLS)を年間4回開催します。

取得単位:小児科専門医(新制度)更新単位 iii小児科領域講習3単位

開催日程	会 場	申込開始時期
2023年11月25日(土)	日本大学	満員御礼
2023年11月26日(日)	日本大学	満員御礼
2024年2月3日(土)	国立成育医療研究センター	2023 年 10 月上旬
2024年2月4日(日)	国立成育医療研究センター	2023 年 10 月上旬

申し込み:日本小児科学会 HP

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=221

◆ 関連学会の講演情報 ◆

第 124 回東京小児科医会学術講演会のご案内

開催方法:オンデマンド

取得単位:小児科領域講習2単位

オンデマンド配信期間:令和5年12月2日(土)~令和5年12月17日(日) 視聴申し込み期間:令和5年10月26日(木)~令和5年12月7日(木) 詳 細:東京小児科医会ホームページ https://tokyo-pediatrics.org/

開催に関する問い合わせ先:編集室なるにあ

E-mail: tpa@narunia.co.jp

電話 03-3818-6450 (平日9:00~17:00)